

トピックス

金融懇談会

本会は2月2日、千葉県中小企業会館において「平成22年度第2回金融懇談会」を開催した。

同懇談会には、本会から佐藤専務理事、藤原事務局長をはじめ15名が、また、(株)商工中金からは石黒千葉支店長、田村松戸支店長ら12名が出席し、はじめに、「組合の設立状況」や「平成22年度千葉県における中小企業労働事情について」の報告を本会から行った。続いて、(株)商工中金から「最近の金融情勢」についての報告があり、その後、「組合金融の問題点」についての意見交換が行われた。

商業4団体新春合同講演会

商業4団体（千葉県商店街連合会・畔高敦司会長、千葉県商店街振興組合連合会・石戸新一郎理事長、千葉県商業専門店協同組合連合会・土屋利夫会長、千葉県共同店舗協議会・寺林幹雄会長）の合同新春講演会が2月8日、市内のホテルグリーンタワー千葉において開催された。

同講演会の基調講演として、(株)アフタヌーンソサエティの代表取

締役清水義次氏による「地域商業活性化のためのまちづくりについて」と題した講演が行われ、続くパネルディスカッションでは、商店街振興組合柏二番街商店会・石戸新一郎理事長、松戸駅周辺にぎやか推進協議会・近藤典夫専務理事、大久保商店街協同組合・三橋正文理事長の3名をパネリストに迎え、清水義次氏のコーディネーターで、「まちの賑わい創出のための取り組みについて」をテーマに、熱のこもった議論が交わされた。



「商業四団体合同新春講演会」パネルディスカッションの様子

続いて催された賀詞交歓会では、千葉県の森田健作知事をはじめ多数の来賓出席のもと、活力あるまちづくりを目指す高い志が相互に共鳴し合う中で、活発な交流が行われた。

情報連絡員会議

本会は2月9日、千葉市内のホテルにおいて、標記会議を開催した。はじめに、本会経営支援部より「情報連絡員集計結果報告」についての発表を行った。これを受けて、参加した情報連絡員からは年間を通じた業界の動向等についての生の声が多く寄せられた。

続く講演では、三井住友海上火災保険(株)経営サポートセンターの古山直子アドバイザーを講師に迎え、「労務トラブルに備え、今とっておくべき対応とは」最新人事労務・就業規則セミナー」と題する講演が行われた。

中小企業団体事務局責任者協会第4回通常総会

千葉県中小企業団体事務局責任者協会（神子勇会長）の第4回通常総会が2月14日、千葉市内のホテルにおいて開催された。

議案審議では、①平成22年度事業報告及び決算報告承認の件、②平成23年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件、③会費の額及び徴収方法決定の件の3つの議案が上程され、いずれも原案通り承認可決された。

続いて、中央会の組合事務局強化事業により「組合運営研究会（セミナー）」が開催され、日本人事プランニング(株)の友光俊郎代表取締役を講師に迎え、「厳しい時代を勝ち残るための組合事業のあり方と事務局の役割」と題する講演が行われた。

また、会議終了後は、千葉県中小企業団体事務局責任者協会の主催で「全体交流会」が開催され、参加者らの活発な交流が行われた。

産学連携交流会

本会は2月17日、木更津工業高等専門学校において、中小企業の経営力向上に向け、多様な技術とデータを有する学術機関との連携強化を目的とした標記交流会を、千葉県異業種交流融合化協議会（本田周会長）と共催で開催した。

はじめに、同校の副校長兼地域共同テクノセンターの黒田孝春センター長から同校の概要及び地域共同テクノセンターの取組みについての説明があり、続いて、研究者プレゼンテーションとして、機械工学科の内田洋彰教授（CAEを用いた機械システムの制御）、電子制御工学科の大橋太郎准教授（輻輳作業

におけるクレイン衝突防止の1考察情報工学科の栗本育三郎教授近赤外分光法を用いた脳機能信号解析、環境都市工学科の上村繁樹教授（東京湾の水環境回復のためにDHSによる高効率廃水処理システムの開発）を発表者に迎え、それぞれ（内のテーマにより発表を行った）。

その後、学生の実習教育並びに、研究・実験に必要な機器部品の製作を行う場である実習工場を見学した。実習工場は教育・研究の他、コンクリートの強度等、各種試験も行うことができ、参加者は工場の内容や高専の学生が在学中にどのような技術を学ぶのかを視察した。

南房総地域組合懇談会

本会は2月23日、館山市内のホテルにおいて、「地域組合等活動支援事業」の一環として、標記懇談会を開催した。

当日は、古知税理士事務所の古知所長による講演（「組合会計基準による決算手続きについて」）が行われ、続いて本会工業連携支援部より「組合事務手続きについて」の説明の後、質疑応答や意見交換が行われた。